

「工事完成図書電子納品要領(案)手引き書(改訂版)作成

現場情報標準化WGでは、国土交通省が進める電子納品に現場がスムーズに対応できる事を目的として、平成12年11月に「現場における電子情報蓄積・管理実践ガイド」を作成したのをはじめ、平成13年2月に今回改訂した手引き書の初版を作成し公開してきた。

電子納品が開始されてから1年以上経過した段階での実態としては受発注者双方ともに電子納品を理解している状態とは言い難い状況で、スムーズな電子納品が行われていないこともわかってきた。一方、電子納品を行うための電子納品用ソフトや情報共有サーバのASPによるサービスなどが各社から出され、ある程度内容が充実してきた事からこれらのソフトやサービスの利用を考慮した電子納品手順を工事の各段階毎に全面改訂した。

主要な改訂ポイントは以下ようになる。

- ・ 工事完成図書の電子納品要領(案)の主要ポイントを詳述
- ・ 事前準備として電子納品に必要な機器類また事務所内での書類管理のためのフォルダ構成の考え方を別章として独立
- ・ 書類管理は多く市販されている竣工時に電子納品作業を行うソフトを利用することを前提とした日常の書類管理方法および電子納品時の処理として記述
- ・ 電子納品 Q&A を各段階毎に分けてセミナーや土工協に寄せられた電子納品に関する質問事項を追加
- ・ 付録書類として市販されている電子納品ソフト(全てではない)の一覧をタイプ掲載(分類したソフトタイプは表3-1に示す)

表3-1 電子納品ソフトタイプ別機能一覧

業務の流れ	タイプ	タイプ	タイプ
定型書類の作成			
書類の提出			
承認行為			
日常のデータ管理			
納品用のフォルダ作成			
XMLデータの作成			
XMLデータのチェック			
納品媒体イメージ作成			
ウイルスチェック			
納品媒体作成			
検査			
摘要	現行の作業(すべてを紙で提出)二重管理もしくは鑑と電子化出来なかった資料のみ紙で提出	電子化出来なかった資料のみ紙で提出 日々の業務を電子納品へ移行	書類のやり取りを電子化

印は外部ソフトと連動

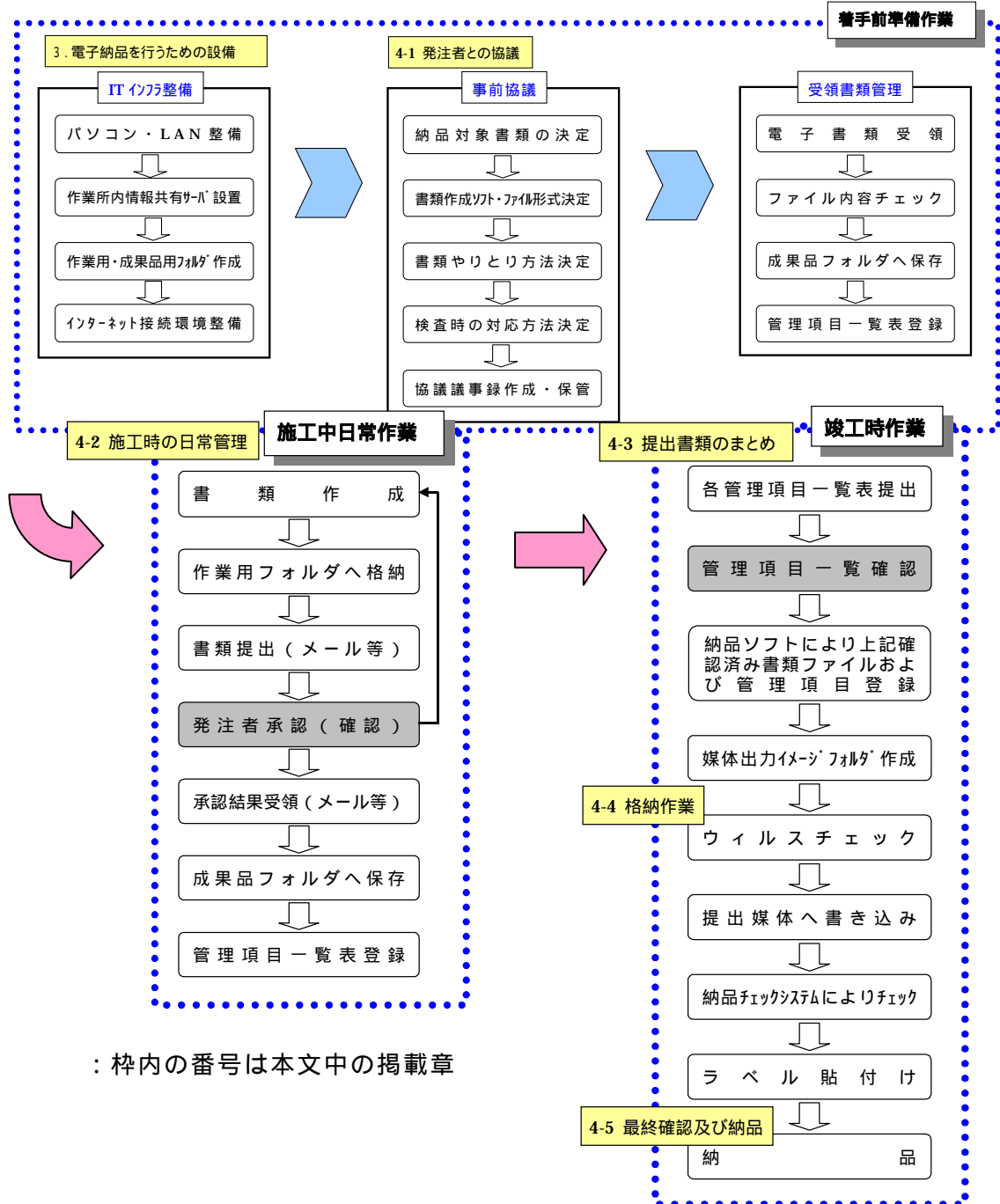
タイプ ……工事完成時にまとめて電子納品成果物を作成する、電子納品作業に特化したソフトで現

在主流のソフト

タイプ ……日常業務で作成されたファイル等をソフト自体で管理し、そのまま電子納品へ移行できるソフト

タイプ ……タイプ の機能に加えて、発注者との電子的なやり取りが可能なソフト

・付録資料として電子納品作業フローを全面見直し(図3 - 1 参照)



：枠内の番号は本文中の掲載章

図3 - 1 電子納品作業フロー